

ヘルパル平和賞団体委員長アシモトさん

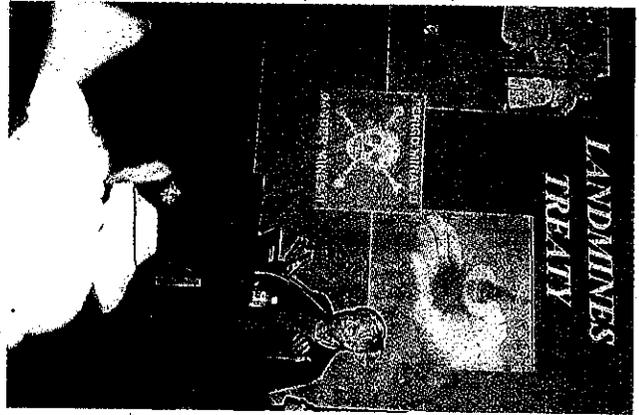
「人を敵視しないで」

亀岡高校 特別授業

ドさんは、98～02年に会長を務めた。その経験を基に、06年に「Enough B1 ood Shed (もう血は十分流された)」を著した。日本の「核戦争に反対する医師の会」が、約50人のボランティアの手で平和へのアクション101+2として翻訳、この4月に刊行された。アシモトさんは今月9日に来日し、亀岡市の通記者藤井智子さん(38)の伸介で特別授業が実現した。日本文版は、かもがわ出版刊。別巻2600円。

戦争や暴力をなくすにはどうすればいいか……。85年にヘルパル平和賞を受けた核戦争防止国際医師会議(I-PINW、本部・米国)の元会長メリウイン・アシモトさん(69)が13日、亀岡市の府立亀岡高校で特別授業をし、世界の事例を挙げながら解決策を説いた。生徒たちは「平和のために自分ができること」を英語で訴えた。(北垣博美)

約110人の生徒を前にして、人を尊敬の対象として見シモトさんはスライドを使って、いかに対人地雷を「日本として、露送9条は世界にとって重大なものとして守ってほしい」など登壇した。9年の坪内真紀さん(17)は「とても勇気づけられて、平和を守るために私たちが、早く私も行動できるよっ何かができますか」という生徒の問いに、「高校生としてI-PINWは世界の医師約



暴力や子口、戦争をいかに回避するか。世界の史例をおげて話すアシモトさん(亀岡高校)